

平成28年度 第2回 学生・教員懇談会

1. 期日 平成29年1月18日(水) 12:00~13:00
2. 出席者 FD委員会…荒牧弘範、戸田晶久、村山恵子、安川圭司、岡崎裕之、副田二三夫、松延千春、(敬称略)上野雅継、宮本明憲 計9名
実務実習委員会…入倉充、他10名 及び 実務実習担当教員数名
3. 学生 4年及び5年から各4名ずつ選出 (実務実習を控えた4年生と実務実習を終えた5年生) 計8名
4. 場所 大会議室
5. テーマ 実務実習事前学習に関して(実務実習の感想、事前学習と実務での相違点、実務実習を行うにあたって)

以下、出席学生8名に、自由に意見を述べてもらった。

Q1. 各学年の立場から実務実習事前学習について、感じたことをお願いします。

良かった点

4年

- ・軟膏の混ぜ方など教員により異なる。
- ・事前学習がOSCE本試験の時、大変自信になった。
- ・パワーポイントでの資料作りが勉強になった。

5年

- ・製剤、調剤が上手くやれたが、散剤に手こずった。
- ・SGDでの発表の経験が、現場で活かされた。

改善して欲しい点

4年

- ・グループだと役割が固定する。グループを越えたメンバーのシャッフルが望ましい。
- ・自習書が見にくい。使わない部分が多い。

5年

- ・SGDは心構えにはなったが、実際の業務とは直結していない。

Q2. 実習先で事前学習を受けていて感じたことをお願いします。

良かった点

5年

- ・病院での実習はやりがいを感じた。
- ・薬局では、学校など周辺地域への活動に参加できて良かった。

改善して欲しい点

5年

- ・地方の施設、指導薬剤師など格差が大きい。大学との連携がより深まることを期待したい。
- ・軟膏剤、散剤などの進め方を実務内容に即した実習にして欲しい。

- ・実習先では、戸惑い、手探り感がある。消化するためには、コミュニケーション力が重要と感じた。外部講師を招いて事前に教育して欲しい。
- ・病院での実習は、担当する病棟が決められ望んでいた経験ができなかった。

Q 3. Q 2. のコミュニケーション力について、事前教育に必要と思いますか？

5年

- ・通常の指導くらいでは駄目だと思う。実習態度など強化ポイントに置いて、厳しく指導してもらい、学生が自分から動くように教育して欲しい。

Q 4. 事前の実習について何が必要と思いますか。

5年

- ・調剤など一つ一つ確実に取り組ませ、後で一連の流れを通した指導をお願いしたい。
- ・実務実習に行く前に、一度現場を見る機会があればいい。

Q 5. 4年生から5年生に向けて、聞いておきたいことをお願いします。

4年Q.

- ・C B T 終了から実習に行く前に準備しておくことを教えてください。

5年A.

- ・基本的な病態についてはしっかり知っておくこと。さらに判らないことがあっても解決する手段を学んでおくことが大切です。

4年Q.

- ・実習先での他大学との実習生との関わり方について教えてください。上手くできるか心配しています。

5年A.

- ・他大学とは、グループ活動だった。仲良く協力して業務に取り組み、交流の場が多くあり、問題なかった。

Q 6. 4年生に向けて、実務実習事前学習について要望があればお願いします。(スーツ着用、開講時期、開講時間数、前期のSGDなど)

4年

- ・前期のSGDを減らしてでも、実技の時間を多く取って欲しい。
- ・時間割で空き時間を詰めて開講して欲しい。
- ・実習で直用するスーツに負担は感じない。

6. 今後に向けて

本懇談会は、学生から忌憚りの無い意見が出された。学生の意見を今後の実務実習の教育に向けて、可能な限り反映していくこととした。

以上